

つなぐ

編集・発行／都城市PTA連絡協議会
都城市矩城町7街区8号
TEL.0986-24-5312
FAX.0986-24-2812
E-mail: mmpta@bz03.plala.or.jp



校門前での挨拶



親子ドッチビー大会

今町小学校

今町小学校は、都城市の南部、県境近くにある児童154名の小規模校です。

子どもたちは、毎朝校門で校訓「やさしく・かしこく・元気よく」を元気に朗唱しています。学級数が多くないので、子どもたちは和気あいあいとして学習に取り組んでいます。昼休みには「全校みんなで遊ぶ日」があります。上級生と下級生の結びつきが深いのが今町っ子のよいところです。

PTA活動では、三役を中心に各種委員会が積極的に動いています。例年11月の参観日には親子ドッチビー大会を行い、児童・保護者の親睦を図っています。来年は創立150周年を迎えるため、現在その準備を進めているところです。

第30回やっさ祭り

安久小学校

令和5年7月15日(土)に第30回やっさ祭りが安久小学校体育館で開催されました。

4年ぶりの開催となり多くの人が会場に訪れていました。

当日は学校区内の6つの地区から各地区に伝わる踊りや歌が披露されました。

踊りや歌の練習は、夜に公民館に集まり、地域の方々から教えていただきました。コロナ禍で中止となっていた以来、初めてやっさ祭りに参加する児童もいましたが、短い期間で覚えたとは思えないほどのとても素晴らしい踊りや歌を披露してくれました。

また、体育館の外では保護者、地域の方による飲食の販売も行われていました。

最後には、PTA執行部による抽選会も開かれ一番の盛り上がりを見せました。

学校とPTA、地域のつながり、一つになったやっさ祭りでした。



GIGA参観日

南小学校

令和5年11月29日(水)に都城市教育委員会主催のGIGA参観日が開催されました。

これは、南小学校がGoogle for Education事例校に認定されたことを受けて実施されたものです。

参観日前半は6年生体育科の授業公開、後半はトークセッションでした。

授業公開では6年2組の児童が担任の大迫琢朗教諭指導のもとフラッグフットボールの授業を公開しました。後半は、本市の児玉晴男教育長、鹿児島女子短期大学渡邊光浩准教授、本校の原圭史教諭によるトークセッションでした。教育長をモデレーターとして、1人1台端末の活用状況の説明やセカンドGIGA等、これからの教育の未来予想図、方向性等について議論されました。市内だけでなく、市外からも多くの先生方の参加があり、100名を超える参加者となりました。様々な意見が出され、学びの多い時間となりました。



全国ジュニア・ICT・リーダーサミット (全国ジルサミット)

丸野小学校

令和5年12月3日(日)に「全国とつなぐれ」というテーマのもと、愛媛・大分・宮崎・群馬・埼玉・静岡・東京・山梨の各都道府県の児童生徒が参加した「全国ジュニア・ICT・リーダーサミット(全国ジルサミット)」が開催され、宮崎県からは、丸野小学校5年生の児童8名がオンラインで参加しました。「全国ジルサミット」は

日本各地の参加者が、自分のふるさとを紹介し合い、全国の参加者となつたことを目的としています。丸野小学校では都城市教育委員会のサポートを受け、担任及び児童8名が中心となつて計画から発表まで務めました。当日は、全国各地からのあいさつの後、それぞれの地域の児童・生徒が自分たちのふるさとについて発表しました。丸野小は6番目で、スライドを使って都城市の素晴らしさをわかりやすく紹介することができました。数週間の練習の成果を十分に発揮できた見事な発表でした。休日にもかかわらず、参加者以外の5年生や、お隣の志和池小学校の5年生も駆けつけてくれました。

参加した、堀切郁希(ほりきり) あまねさんは、「今回のジルサミットの発表では、都城の宝を紹介することができ、都城のことがもっと好きになりました。そして、もっといろんな人達に伝えたいなりました。私は、発表することが苦手でしたが、ジルサミットに挑戦して、発表することが好きになりました。」と感想を述べていました。



令和5年12月11日(月)に石山小学校の4、5年生が、大手回転ずしチェーンの「くら寿司」の「お寿司で学ぶ出張授業」というテーマで、食品ロス削減や低利用魚の有効活用等についての体験学習をしました。宮崎県内では初めての開催でした。

実際の回転ずし装置を使い、お寿司を作るお店側のグループ、お寿司を食べるお客側のグループの二つに分かれて、お客が注文しなかった商品が廃棄されることを知りました。

その後、子どもたちは話し合いを通して、「低利用魚の有効活用」、「食品ロスを減らす工夫」等について考えることができました。

★授業後の児童の感想

●低利用魚が増えていくことを知りました。食品ロスも増えているので、低利用魚や食品ロスを減らす手伝いができたらうれしいです。くら寿司も工夫しているので私も減らす工夫してみたいと思いました。

(新地 璃子)

●低利用魚について考えて、「イベントやお寿司屋さんの方にQRコードをはって読み込んでもらって、知ってもらいようにしたい」と思います」と発表しました。先生や授業をしてくれた人がほめてくれてうれしかったです。(宮脇 唯菜)

●12月11日にSDGsのことを学びました。
低利用魚のことや未来のおすしの事を教えてくださいました。食品ロスの事で、ゲームをしました。

順位など見てすしを選んだり、カードを引いておすしを取ったりしました。また、こういう授業ができると嬉しいです。

(森山 唯愛)



※低利用魚・未利用魚とは

特定の魚を指すものではなく、水揚げしても市場に出回らない、あるいは出回りにくい魚のことを指す。名が知られていないマイナーな魚、生態系を守るために駆除された魚、食べ物として、認識されない魚などが低利用魚・未利用魚に該当する。

令和5年12月16日(土)有水中学校グラウンド脇に定植されていた杉・檜を地域の皆さんに焚き物として提供するサステナブルな取り組みを行いました。

対象となった10数本の杉や檜は日照障害や道路の凍結などを引き起こし、地域の方々にはご迷惑とご心配をおかけしてきたところでした。このため9月に行われてきたPTA奉仕作業において、ようやく問題となる木々を倒木することに至りました。切り倒した木々は直径20cm〜80cm程度に成長しているものばかりでしたので、焼却処分するのはもったいないと考え、地域の方々へ「薪」として還元することとしました。

有水地区には、薪によりお風呂を沸かす世帯も多く、公民館加入世帯にチラシを配布し、提供希望者を募る事としました。しかし、希望者の多くは高齢者であった為、PTA役員、有志数名が薪として適当なサイズに玉切りし、薪割り機を使い薪を割ることとし、地域の方には割った薪を取りに来ていただく仕組みとしました。地域の方からは、「足腰が弱くなり薪の調達に苦労していた」、「薪を割って提供してもらうのは非常に助かった」など、感謝の言葉をいただきました。

今回の取組は、保護者(P)が地域と学校に働きかけ、関わりを持てたことで実現したものです。今後も地域と学校の要となるようPは汗をかき、T(教職員)は教育行政との橋渡しとして互いの立場を補完しあいながら、地域の特性に応じたコミュニティスクールの構築と、将来を担う子どもたちへの郷土愛の醸成に努めていきたいと考えています。



※サステナブルとは (Sustainable)

Sustain(持続する)と、able(可能な)を掛け合わせた言葉。つまりサステナブルとは、「持続可能な」という意味。

★総会

令和5年5月20日(土)に令和5年度総会がMJホールで開催されました。

コロナ禍で令和2年度から書面による議決となっていました。が、本年度は都城MJホールにて開催することができました。

令和4年度事業報告をはじめとする5つの議案が可決され、令和5年度のスタートとなりました。

また、退任する役員・理事の皆様には感謝状が贈呈され、受賞者を代表して、梅北小学校PTA会長海田大介さんが、謝辞を述べられました。

その後、会場を都城グリーンホテルに移して、懇親会が開催され、池田宜永市長をはじめ9名の来賓の方々、小・中学校校長、教頭、PTA会長約160名が参加しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為人数を制限しての開催となりました。



★広報担当者講習会

5月27日(土)広報担当者講習会が、毎日新聞社宮崎支局長の加藤学氏を招いて中央公民館で開催されました。

PTA新聞を作成する際のアドバイスや過去のPTA新聞をもとに、工夫されているところ、良い所など、丁寧にわかりやすく説明していただきました。今後の新聞作成に役立つ有意義な講習会となりました。



★学年・学級委員長研修会

6月17日(土)に学年・学級委員長研修会が中央公民館で行われました。

全体会では、都市社会教育指導員の横田浩氏による「学年・学級PTA活動の充実を目指して」と題しての講話があり、その後、みやざき家庭教育サポートプログラム講師による体験活動が行われました。分科会では、学校規模に応じたグループ分けて「学年・学級PTAの運営」について協議、意見交換が行われ、今後の活動に活かせる有意義な研修会となりました。



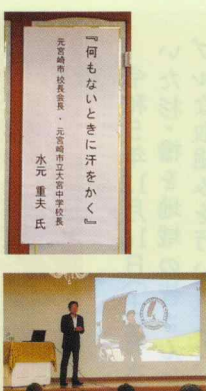
★PTA会長研修会

令和5年8月4日(金)PTA会長研修会が中山荘で開催され、小中学校のPTA会長約40名が参加しました。

開会行事の後、「何もないときに汗をかく」と題して、元宮崎市立大宮中学校長水元重夫氏による講演が行われました。

水元重夫氏は松下幸之助氏の本に感銘を受け、大学生時代にアルバイトして貯めたお金でアメリカに行き、バンジージャンプ、スカイダイビングなどを体験されたそうです。その体験から何かをやる前から思い悩むのではなく、また、大きな勇気をもって挑戦することや行動すること、大事だが、小さな勇気を持つ事も大事であると気づいたと話されました。

その後の懇親会には、水元講師も参加され、講演の内容をさらに詳しくお話いただき、充実した研修会となりました。



★第71回日本PTA全国研究大会 広島大会

令和5年8月25日(金)〜26日(土)に「変化の時代に向け、PTA自身が学びの変革」を大会スローガンに掲げ、「第71回日本PTA全国研究大会 広島大会」が開催されました。

1日目の分科会においては、テーマごとに広島県内8会場で研究・討議が行われました。

宮崎県内からは21名がそれぞれの分科会に分かれて参加しました。都城市は、「教育の情報化の推進」これからの情報化社会に生きる子供たちに必要なもの」の研究課題をテーマとした分科会に参加し、静岡大学教育学部 准教授 塩田真吾氏による「AI・ロボット時代を生き抜く情報活用能力をどう育むか」と題しての講演を聴きました。

2日目の全体会は広島グリーンアリーナで行われました。黒川伊保子氏による記念講演「心のトリセツ」『逃げ癖』を『意欲』に変える脳科学」は参加者を魅了する楽しい講演でした。



※黒川伊保子氏の主な著書
「妻のトリセツ」
「家族のトリセツ」

★第68回日本PTA
九州ブロック研究大会
佐賀大会

令和5年10月28日(土)～29日(日)に、「SAGAそう子ども」の未来 見直そうPTAの力を大会スローガンに掲げ佐賀県で開催されました。

1日目は県内6つの会場で分科会が行われ、都城市からは50名が、第2分科会、第4分科会、特別第2分科会に分かれて参加しました。

2日目はSAGAアリーナで全体会が行われ、都城市立明道小学校PTAが団体の部で表彰されました。その後、タニタ食堂で有名な、株式会社タニタ代表取締役社長 谷田千里氏による「社会のためになるAボタン」タニタの姿勢と考え方」と題しての記念講演が行われました。

最後には、佐賀県出身のはなわ氏による曲の披露があり、大変盛り上がりしました。



★教育懇談会

令和5年11月10日(金)に、市内小中学校の校長、PTA会長36名が参加して教育懇談会が都城グリーンホテルで行われました。

始めに、「都城の教育」と題して児玉晴男教育長より講話をしていただきました。その後、清水かな子教育総務課長より「ツイタもん」、山内昭弘学校教育課長より「学校における医療的ケア児支援事業」について説明していただきました。

研修会の後、昨年まで、コロナ禍で中止となっていた情報交換会が開かれました。他校の活動状況などの情報交換が活発に行われ、大変盛り上がりしました。



★第65回

宮崎県PTA研究大会
えびの市・小林市・西諸県郡大会

令和5年12月2日(土)にえびの市文化センターで開催されました。県内からPTA会員及び教育関係者約500名の参加がありました。

アトラクションは、小林市出身のギタリスト大萩康司氏によるミニコンサートでした。澄んだギターの色に心が洗われました。

開会式ではPTA活動に功績のあった、団体、個人の表彰が行われ、都城市からは、「南小学校PTA」、「庄内中学校PTA」、「高崎中学校PTA」川野希さんが受賞されました。

その後、小林市立細野小学校PTAが「家庭と学校、地域をつなぐPTA活動」、高鍋町立高鍋東中学校PTAが「連携協働を考えたこれからのPTA活動の在り方」と題して研究発表を行いました。これからのPTA活動の在り方を考えさせられる素晴らしい発表でした。



★都城市PTA連絡協議会
研究大会

令和6年1月27日(土)M Jホールにて、第63回都城市PTA研究大会が開催されました。池田宜永市長、長友潤治市議会議員、児玉晴男教育長、山内昭弘学校教育課長、徳永由佳生涯学習課長をお迎えしました。

開会行事に先立ち、1月1日に発生した能登半島地震で亡くなられた方に対し哀悼の意を表し、参加者全員で黙祷を捧げました。

開会行事では、PTA活動に貢献のあった会員28名が表彰され、受賞者を代表して、庄内中学校PTA会長宮島大介さんが謝辞を述べられました。

その後、南小学校PTAが「子どもを真ん中に保護者が楽しく自らの意思で活動できるPTA」、庄内中学校が「家庭や地域の明るい環境づくりを進め、子どもの健全な育成を図るPTA活動」と題して研究発表を行いました。

講演会については、本年度は中止とさせていただきます。



今後の行事予定

令和6年	5月25日(土)	総会	MJホール
	6月1日(土)	広報担当者講習会	中央公民館
	6月15日(土)	学年・学級委員長研修会	中央公民館
	8月2日(金)	PTA会長研修会	グリーンホテル

(会場については予定です)

受賞おめでとうございます

●日本PTA九州ブロック研究大会 表彰

団体表彰 都城市立明道小学校PTA

●宮崎県PTA表彰

団体表彰 都城市立南小学校 PTA

都城市立庄内中学校 PTA

個人表彰 都城市立高崎中学校 PTA

川野 希 様

●令和6年能登半島地震

令和6年1月1日に発生した能登半島地震に被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

都城市PTA連絡協議会から日本赤十字社を通して義援金を送らせていただきましたことをご報告致します。

●令和5年度優良PTA 文部科学大臣表彰

都城市立明道小学校

令和5年12月22日(金)に明道小学校PTA(会長 酒井陽介)執行部4名と児童代表2名、後藤世志哉校長が、文部科学大臣表彰を受けたことを報告する為、池田宜永市長を表敬訪問しました。

表彰式は11月24日(金)に東京都内のホテルで開催され、上園将己前PTA会長、後藤世志哉校長が出席しました。

明道小学校は、コロナ禍においても、PTA行事を中止することもなく、感染予防対策に十分配慮しながら、創立150周年イベントを数々、計画・運営しました。できる範囲の中で最大限の思い出づくりを目指し、様々な工夫を行いました。これらの取り組みは児童、保護者、地域の方々から大好評でこのような活動の功績が認められ、今回の表彰となりました。



編集後記

長い間私たちの生活を脅かしていた、新型コロナウイルス感染症が五類へ移行し、もうすぐ一年が経とうとしています。

学校行事が徐々に再開され、子どもたちのたくさんの笑顔と精一杯頑張る姿を見ることができ、とてもうれしく思います。

このコロナ禍は、PTA活動の在り方を見つめ直す大きな機会になりました。また、保護者・学校・地域のつながりの大切さを改めて実感したように思います。

本年度、市P連の活動を通じてたくさんの出会いや学びを得ることができました。一年間ありがとうございました。

編集委員 河野 さやか

編集委員

赤池 智和	溝添 友貴	岩元 弘樹	中野 敏修	福重 耕一郎	久保 武樹	河野 寿人	児玉 加奈子	乙丸 慶子	野口 勇心	河野 さやか	盛留 賢樹	高木 かおる	原 口 辰弘	開坂 将一	岩間 将一	岩崎 元子	池田 絹子
-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	--------	-------	-------	--------	-------	--------	--------	-------	-------	-------	-------

【事務局】